



はっぴーわーく

福岡市立障がい者就労支援センター

令和8年2月発行

Vol. 66

スキルアップセミナー・ ミニスキルアップセミナーを開催しました！

大学生等を対象
スキルアップセミナー
8/6～8/8（3日間）

高校生を対象
ミニスキルアップセミナー
12/22～12/23（2日間）



講義



グループワーク



PC入力作業体験



ハンギング作業体験



意見交換会



就労支援センターでは就職活動を行う予定の学生向けにスキルアップセミナーを開催しています。このセミナーは「働くとは」「働き続けるために」「雇用事例紹介」等の講義・グループワークや、PC入力や衣類のハンギングなど就労を想定した4つの作業体験を通して自己理解を深めるきっかけを作っていただくことを目的としています。

意見交換会に参加した受講者からは、「他の受講者の意見を聞くことで、働くことについても様々な視点があることが分かった」との感想も聞かれ、自分の考え方などについて改めて考えるきっかけになったようでした。また、大学生・高校生のどちらも、「就職に対するイメージが変わった、面接練習ができて自信がついた」など多くの感想が聞かれました。

企業の方にもご協力いただき、企業見学や交流の場を設けました。多くの参加者が実際の現場を見ることで、仕事内容や求められるスキル、働き続けるために必要なことなど、学校とは違った学びを感じたようでした。担当の方からは「学生との交流ができてよかった」との意見がありました。



1歩づつ・・・

雇用事例紹介

～株式会社 ブランチェス～



代表取締役 榎藤光枝さん

株式会社 Branches



株式会社ブランチェスは保育園事業・訪問看護事業を中心に「子どもたちに愛情を 保護者に安心を 社員に働く喜びを」という理念のもと、人生に寄り添うサービスを提供されています。

2024年に当センターへ障がい者雇用の進め方についてご相談があり、初めての取り組みに戸惑いながらも業務の切り出しや受け入れを実現されました。

今回は代表取締役の榎藤さん、障がい者雇用で就職されたAさん、業務の切り出しに携わり、現在も現場でAさんのサポートをされている古賀さんにお話しを伺いました。



障がい者就労支援センターの 利用に至った経緯

私は博多法人会の社会貢献委員会のメンバーでもあります。障がい者雇用セミナーに参加し、直接お話を聞くにあたり、制度の利用方法を具体的に知ることができたことが利用のきっかけとなりました。

障がい者雇用を継続していくために 大事だと考えていること

雇用を継続するためには、障がいの有無にかかわらず「一人ひとりの社員を大切に」という基本的な姿勢だと考えています。障がい者だからといって特別扱いをするのではなく、その方の特性や得意分野を伸ばすことが大切ではないかと思います。

苦手なことがあれば、障がいの有無に関係なく、お互いに得意・不得意を補いあえる業務環境を整えていきたいと思っています。

実際に障がい者雇用の受け入れをおこない 感じていること

雇用を開始し感じたのは、良い意味で「他のスタッフと何ら変わりがない」ということです。

「障がい者雇用」という特別な枠組みを意識することなく、自然とチームの一員として溶け込んでおり、頼もしい一員として活躍してくれていることを大変嬉しく感じています。

障がい者雇用について 今後の展望

弊社の行っている事業や社会的背景においても、今後はさらに積極的な採用に取り組む方針です。もちろん、障がい特性は千差万別であり、受け入れる企業側として、一人ひとりを正しく理解し、適切な対応をすることに難しさを感じる場面も多々あるかと思います。

しかし、そうした課題に向き合い、スタッフとも協議しながら組織としての多様性と強さを育てていけたらと思っています。

障がい者雇用を進めていく中で難しかったこと

ほとんど知識がない状態でのスタートだった為、就労支援センターに都度相談していました。受入準備では、業務の切り出しやマニュアル作成に時間を要し、受入後も一度に全てを教えるのではなく、一つ一つ順を追って説明することに大変さを感じました。就労支援センターからの助言もあり、時間がかかりながらも進められたと感じています。

Aさんの 就職までの道のり

当センターのスキルアップセミナーや入職前の実習を経て、ブランチェスに就職されたAさん。働き始めて1年が経過した今、これまでを振り返りお話をさせていただきました。



先輩の古賀さんとAさん

スキルアップセミナーに参加して 就職活動に活かされたこと

面接や履歴書の書き方の基本的なことから、自分の病気の伝え方といった細かいところまで学びました。特に病気のことを上手く伝えられるか不安でしたが、参加したことで開示の仕方を学び安心できました。

就職前に実習をして良かったと思うこと

実際に行う業務を体験し、どの程度の体力が必要かが分かりました。また就職した場合、無理なく続けられるか、私生活にどのような影響があるか、上手く両立できるかなどを事前にシミュレーションすることが出来たことが良かったです。

学生から社会人となった気持ちの変化

責任感を持つようになったと思います。学生の頃は「このくらいいいか」という気持ちで取り組むこともありましたが、今は中途半端ではいけないと強く感じるようになりました。

仕事で大変なこと・気を付けていること

仕事で大変さは感じていませんが、気を付けていることは早めの行動です。期日に遅れたり、ぎりぎりで雑な仕事にならないように注意しています。また頼まれたことにはすぐに取り掛かり、余裕をもって終わらせることを意識しています。

先輩の古賀さん にお話を伺いました

Aさんの職場での様子

入社されて1年が経ちました。職場環境にすっかり馴染んでおり、体調を崩すことなく頑張っている様子です。仕事中は集中し、雑談する際は和やかに過ごされています。

入職当初からの変化

周囲とのコミュニケーションをより円滑に取れるようになったことです。また、周りに確認をしなくても仕事を進められるようになり、少しずつ自立して業務に取り組む姿勢も見られるようになりました。

障がい者雇用を始めるにあたり 苦労したこと・工夫したこと

業務のスケジュールを考えることや、障がいのある方の視点に立ったマニュアル作成に難しさを感じました。実習の際は、障がいの特性に応じて伝え方を変えるよう工夫をしました。

～取材を終えて～

Aさんは友人との外出や趣味の読書やゲームを楽しむなど、プライベートの時間も大切にされています。現在は入職した当時よりも業務が増えましたが「出来ることが増え、いろんな人たちと話す機会も多くなり楽しい」と感じているそうです。

古賀さんは「Aさんが仕事の幅を広げ、今より一層活躍できるようサポートを頑張りたい」と話して下さり、Aさん自身も「正社員として働けるように力をつけたい」と、今後もさらなるステップアップを目指していくそうです。

笑顔で話されているお二人の様子が印象的で、入職後1年が経過したAさんがとても頼もしく感じました。



第 18 回 研究・実践成果発表会

当事業団では、各施設が相互に情報発信することで、専門性の向上を図り、更なる事業の展開に結びつけること、及び関係機関等に対する情報発信の場とするため、毎年、「研究・実践成果発表会」を開催しており、今年度は11月12日に行いました。

今回、当センターからは、「障がい者の就労支援の状況と福岡市立障がい者就労支援センターの役割について」という題目で発表しました。センターにおける支援・相談の実績状況を可視化し、今後の支援の方向性についての考察の報告を行いました。

(発表者：福岡市立障がい者就労支援センター

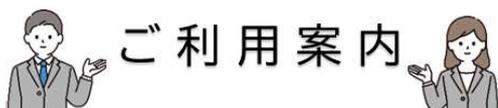
コーディネーター 岡崎)



事業予定 (令和 8 年 1 月～)

事業名	日時	内容
就労 SST 講座 (障がいのある在職者向け)	令和 8 年 1 月 17 日 ～ 2 月 14 日 (全 4 回)	社会生活スキル向上のための実践講座
スキルアップセミナー (大学・短大生、第 2 新卒向け)	令和 8 年 2 月 18 日 ～ 2 月 20 日 (3 日間)	就職に向けた準備と自己理解のための実践講座
障がいのある学生への 支援者連絡会 (大学等の支援者向け)	令和 8 年 1 月 22 日	福岡市内及び近郊の大学・短大の障がいのある学生の支援者(就職課・学生相談室等職員)を対象とした連絡会
第 3 回就労支援事業所研修会 (就労支援事業所職員の方向け)	令和 8 年 2 月 5 日	就労支援事業所との連携事例
第 6 回障がい者雇用セミナー (企業の方向け)	令和 8 年 2 月 13 日	二次障がいとしてのうつ病等の特性と配慮

それぞれの詳細やこれ以降のスケジュールについては、ホームページ・SNSのお知らせをご確認ください



当センターは、障がいのある方の企業就労を進めるために障がいのある方・企業・関係機関への支援を行っています。

編集：社会福祉法人福岡市社会福祉事業団

福岡市立障がい者就労支援センター

連絡先：〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1丁目4番13号

福岡市舞鶴庁舎4階

電話：092(711)0833

FAX：092(711)0834



Instagram



ホーム
ページ



facebook

ホームページへのアクセスは QR コードを読み取るか「福岡市立障がい者就労支援センター」と検索して下さい！